

先週、学校公開があり、小学生の保護者が本校を訪れていました。

そこで、出会った保護者から言われたことですが、「多くの生徒さんが挨拶してくれました。親切でした。いい学校ですね。」自校への「愛校心」を持ち、魅力を感じている生徒の皆さんにとっても我々教員にとっても、とてもうれしい言葉だと思います。素敵な挨拶、素敵な声かけ、ぜひこれからも進んで実行してください。

その一方で、最近、バスの中での言動や、バス停での行動、通学路での様子など、登下校時のマナーについて、本校への苦情を耳にします。とても残念です。

マナーを守ることは、自分を律することに他なりません。

人から何か言われてとか、注意、指導されたから気を付けるというのではなく、常に自ら公共のマナー等を意識し、誇りある錦丘生としての自覚を持って、よりよく行動するように心がけてほしいと思います。

このことに関して、特に、自分を律することがなかなかできないという人に話をしたいと思いますが、自分自身の弱みを克服したり、元気付けたりするもの、自分をよりよく、より高いレベルに導くもの、自分の在り方や生き方を支えるものの1つに「座右の銘」があります。よく聞く言葉だと思いますが、皆さんにはありますか。持っていますか。

「座右の銘」とは、「常に自分の心にとどめておき、戒めや励ましとする言葉」のことで、（人間の生き方や真理、戒めなどを簡潔にまとめた言葉や文章などのことで、）歴史上の偉人やスポーツ選手や芸能人、著名人の言葉や故事成語、四文字熟語などが「座右の銘」として使われています。何を「座右の銘」にするかは人それぞれ自由です。

「座右の銘」の「座右」とは「身近な場所・大切な場所」のことで、「銘」は「大事なことを刻み込む」という意味があります。つまり、大事なことが刻まれたものを身の回りに置いておくということから、「常に自分の心にとどめておき、戒めや励ましとする言葉」という意味になったということです。

私は、最近この言葉を座右の銘にしています。「即今 当処 自己」です。文字通りの意味ですが、何かあったときや、判断に迷ったとき、とにかく頭の中に思い浮かべ、心がけるようにしています。

「座右の銘」を持つことは、夢や希望を持って、自らを律し学び続ける皆さんにとって、心を支える1つになるのではないかと思います。

それぞれに合った、今の自分に、これからの自分に必要な言葉を見つけ、常に自分の傍らに置き、弱くなったり負けそうになったりする時、どうしても前に進みたい時、そんな自分に活を入れてみてはどうでしょうか。

才鷹

